

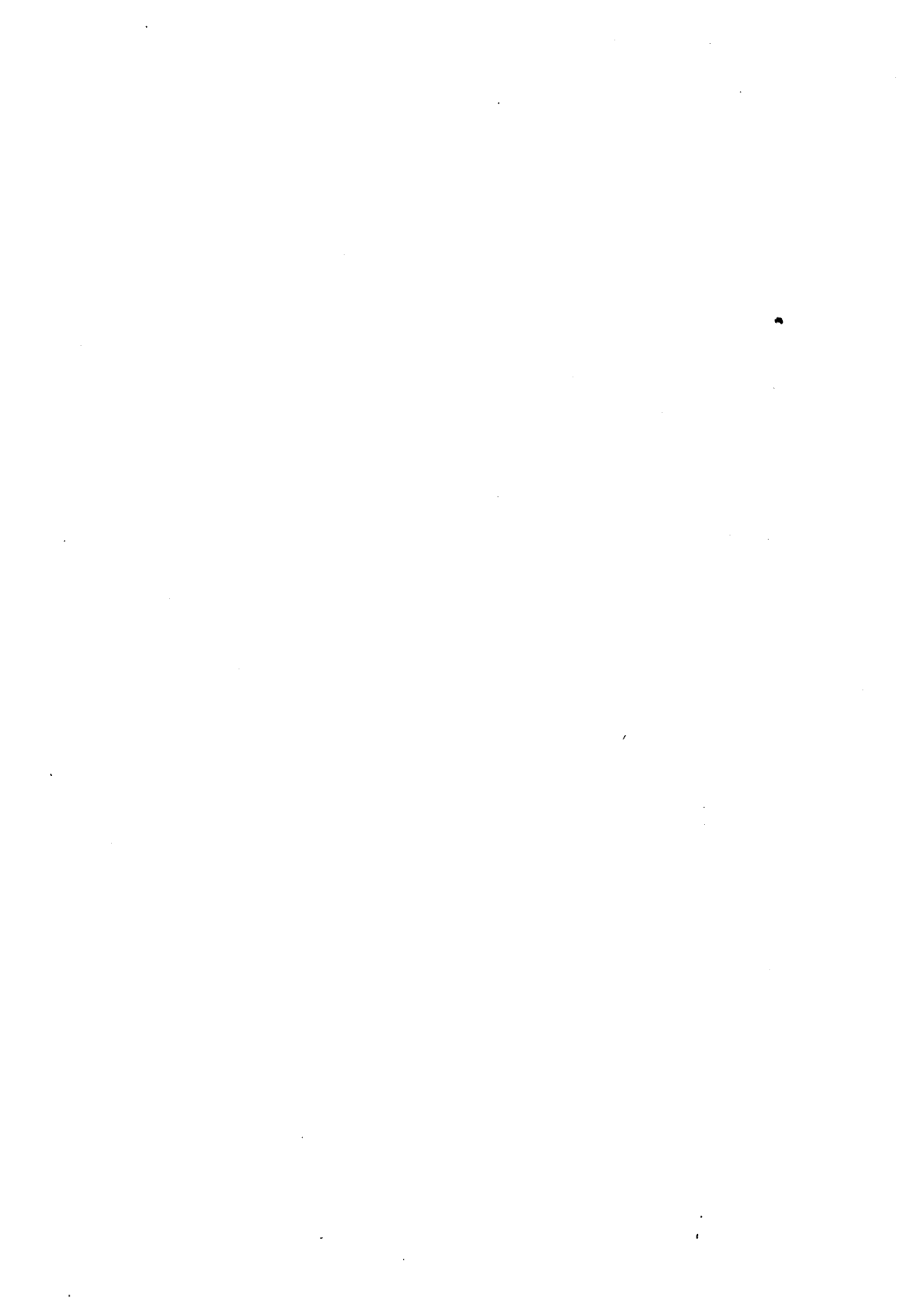
緒 言

福井縣統計書ハ縣下行政其ノ他各般ノ統計ヲ蒐集シ既往現在ノ狀勢ヲ大觀セムガ爲毎年之ヲ刊行シ今ヤ昭和十年ノ統計書ヲ編纂スルニ至レリ本書編ヲ分ツニ其ノ一ヲ「土地戸口等」其ノ二ヲ「學事」其ノ三ヲ「産業」其ノ四ヲ「警察衛生等」ト爲ス

各編收録スル資料ハ主トシテ市町村及學校ノ報告竝廳内ノ調査ニ依リ或ハ關係官公署會社等ノ供給ニ求メタルモノアリ蓋シ世運ノ推移學術ノ進展ニ基キ統計ノ用益多キヲ加フ是ヲ以テ調査ノ正確ヲ期スルト共ニ表章方法ヲ更メ或ハ新ニ收録シタルモノ尠シトセズ然リト雖尙遺憾ナキヲ保セザルニ依リ漸次之ガ改善ニ努メ時世ノ要求ニ應ゼシムル所アラムトス

昭和十二年三月

福井縣總務部



昭和十一年 福井縣統計書目次

第三編 產 業

總 設	頁 1
第一 生產物總價額	
1 生產總價額	7
第二 農 業	
2 耕地面積	7
3 耕地整理ノ一	8
4 耕地整理ノ二	9
5 農產物總價額	10
6 米	10
7 米收穫高前年及五箇年比較	12
8 移出米檢査	12
9 麥	13
10 食用農產物	14
11 園藝農產物ノ一(果實)	16
12 園藝農產物ノ二(蔬菜及花卉)	18
13 工藝農產物	20
14 綠肥用作物	22
15 果 樹 苗	24
16 茶 畑	25
17 桑 畑	25
18 桑 苗	27
19 農產物雜類	26
20 繭	30
21 春 蠶	30
22 夏 秋 蠶	32
23 農作物被害	32
第三 畜 產	
24 畜產物總價額	36
25 牛	36
26 牛 乳	38
27 馬	38
28 豚	42
29 緬 羊	42
30 山 羊	42
31 鷄	44
32 鶯	44
33 蜜 蜂	44
34 屠 殺	45

第四 林 業

35 林產物總價額	頁 46
36 公私有林野面積	46
37 國有林植栽	48
38 國有林伐採	48
39 國有林野破害	48
40 保 安 林	49
41 公私有造林用苗木	50
42 公私有林野人工造林(新植)	50
43 公私有林野人工造林(補植)	54
44 竹 林 植 栽	55
45 公私有林野天然造林	56
46 公私有林伐採面積	58
47 公私有林伐採材積	58
48 林 野 產 物	62
49 木 炭	64
50 林 野 放 牧	66
51 公私有林野破害	66

第五 水 產

52 水產物總價額	67
53 水 產 業 者	67
54 漁 船	70
55 遭難漁船	72
56 沿岸漁獲物	72
57 遠洋漁業	76
58 水產養殖	76
59 水產製造物	78

第六 鑛 業

60 鑛產物總價額	82
61 鑛區及坪數	82
62 石材土石及鑛水	84

第七 工 業

63 工產物總價額	88
64 工場數及職工數	88
65 織 物	88
66 綿 織 物	92
67 絹織物及絹綿交織物	92

	頁
68 麻織物及麻交織物.....	100
69 毛織物及毛交織物.....	102
70 メリヤス製品.....	103
71 晒及染物.....	104
72 帽 子.....	106
73 陶 磁 器.....	106
74 瓦 及 土 管.....	107
75 漆 器.....	107
76 製 革.....	107
77 皮 革 製 品.....	108
78 植 物 油.....	108
79 澱 粉.....	108
80 木 製 品.....	109
81 竹 製 品.....	109
82 藤 製 品.....	110
83 杞柳製品.....	110
84 刷子及刷毛.....	110
85 蓆表蓆簾及花筵.....	111
86 製 茶.....	111
87 蠶絲類ノ一(總 數).....	112
88 蠶絲類ノ二(機械絲).....	114
89 蠶絲類ノ三(座繰絲).....	116
90 蠶絲類ノ四(玉 絲).....	118
91 真 綿.....	118
92 蠶 網.....	119
93 藻 製 品.....	120
94 乳肉製品及罐詰.....	121
95 釀 造 物.....	122
96 飲食物雜類.....	124
97 織物用具.....	126
98 窯業製品.....	130
99 紙 類.....	130

	頁
100 工產物雜類.....	134
101 製造肥料.....	138

第 八 商 業 會 社 銀 行 等

102 敦賀港外國貿易種類別.....	140
103 敦賀港外國貿易國別.....	140
104 港灣移出入貨物.....	142
105 商品陳列所(委託販賣品ノ部).....	143
106 商品陳列所(參考品ノ部).....	143
107 會 社 總 數.....	144
108 會社資本金別.....	144
109 會社業態別.....	145
110 勸業銀行預金.....	147
111 勸業銀行預金預ケ主別.....	148
112 勸業銀行貸付金.....	148
113 勸業銀行貸付金年限別.....	148
114 勸業銀行貸付金借主別.....	149
115 無盡業者及資本金.....	149
116 無盡口數及給付契約高.....	150
117 無盡契約高給付金額別.....	150
118 無盡契約職業別.....	152
119 無盡契約高期間別.....	152
120 無盡口數及給付契約高(郡市別).....	154
121 普通銀行資本金積立金入金出金純益金配當金.....	154
122 普通銀行貸付金.....	154
123 普通銀行諸貸付金擔保別調.....	155
124 普通銀行預金.....	156
125 普通銀行內國爲替.....	156
126 貯 蓄 銀 行.....	158
127 貯蓄銀行預金.....	159
128 產 業 組 合.....	158
129 郵 便 貯 金.....	160

總

說

農 業

耕地面積 昭和十年末ニ於ケル耕地總面積ハ六萬二千四百四十三町八段歩、内田面積ハ五萬六千六百六十五町五段歩、畑面積ハ一萬一千四百七十八町三段歩ニシテ田八割一分五厘、畑一割八分五厘ノ割合ナリ。而シテ之ヲ前年ニ比スレバ田面積ニ於テ六十四町五段歩ヲ増加セルモ畑面積ニ於テハ五十町六段歩ノ減少ニシテ總面積ニ在リテハ十三町九段ノ増加ナリ。

本年内ニ於ケル移動ノ狀況ヲ觀ルニ擴張ニ在リテハ二百二十二町七段歩内田百四十六町八段歩、畑七十五町九段歩ニシテ宅地ヲ耕地ト爲セルモノ八十八町八段歩、山林等ヲ開墾セルモノ七十四町八段歩ヲ其ノ主ナルモノトス。又潰廢ニ在リテハ二百十町九段歩、内田百十二町八段歩、畑九十八町一段歩ニシテ、地類及地目變換ニ因ルモノ百十町三段歩、道路鐵道等ノ敷地ト爲レルモノ二十一町八段歩、宅地竝工場及建物ノ敷地ト爲レルモノ六十町一段歩ヲ其ノ主ナルモノトス。

米 昭和十年ニ於ケル米作付段別ハ四萬八千五百二十六町九段歩ニシテ、收穫高百三萬五千五百七十二石、價額二千八百四十八萬二千四百九十五圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ作付段別ニ於テ二十一町三段歩(〇厘六毛)ヲ減少シタリ。之レ主トシテ道路ノ改修、宅地、工場其ノ他建物ノ敷地竝ニ蔬菜花卉ノ栽培増植等ニ充用セラレタルニ由ル。而シテ收穫高ハ十一萬八千六百三十石(一割二分九厘四毛)ノ增收ニシテ尙價額ニ於テモ三百七十萬四千二百七十圓ノ増額トナレルハ收穫高ノ増加竝ニ米價ノ高騰ニ因レルモノナリ。

蓋シ本年ノ苗代期ニ於ケル天候ハ概ネ良好ニシテ移植後モ亦氣温順調ナリシガ七月中旬ニ至リ曇天降雨多ク低温持續シタル爲メ稻ノ生育遲延シタルモ其ノ後天候回復シタルニ依リ發育ヲ促進シタリ。九月ニ入り再び降雨霪チトナリシ爲中晚稻ノ開花結實ニ稍々影響ヲ與ヘテ登熟ノ妨又稻熱病、二化螟蟲、黑脊象等ノ發生アリタルモ其ノ被害比較的僅少ナリシ爲前記ノ如ク增收ヲ見ルニ至レリ。尙前五箇年平均ノ收穫高ハ九十七萬七千六百四十八石ナルヲ以テ之ヲ本年ノ收穫高百三萬五千五百七十二石ニ比スレバ五分九厘二毛ノ增收ナリ。而シテ本年九月二十日現在ニ於ケル米作農家戸數ハ六萬一千百九十一戸ニシテ一戸平均作付段別七町九段三畝三步、收穫高十六石九斗二升ニ當ル。

麥 昭和十年ニ於ケル麥作付段別ハ三千三百三十一町四段歩ニシテ收穫高三萬九千九百七十石ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ作付段別ニ於テ九十五町二段歩(二分九厘五毛)ヲ減少シタルモ小麥ハ近年増殖獎勵ノ結果逐年増加シ前年ハ千六百町五段歩ナリシガ本年ハ千七十七町三段歩ノ作付ヲ見ルニ至レリ。然リト雖モ大麥、裸麥ハ之ニ反シ逐年減少ノ傾向ニ在リ。又收穫高ニ於テハ一萬三千五百三十三石(五分一厘二毛)ノ增收ヲ示セリ。

蓋シ本年ノ麥作ハ昨秋播種及栽培後ニ於ケル天候ハ降雪量少ナキト氣温概シテ適順ナリシトニ依リ發育ノ經過良好ト爲リ右ノ如ク增收ヲ見ルニ至レリ。大麥、裸麥、小麥ノ作付段別

及收穫高ヲ示サバ次ノ如シ。

	作付段別 町段	收穫高 石
大 麥	2,003.5	27,196
裸 麥	50.6	631
小 麥	1,077.3	12,143

食用農産物 昭和十年ニ於ケル食用農産物ハ作付段別六千二百八十六町一段歩、産額百十三萬三千九百二十八圓ニシテ前年ニ比シ作付段別ニ於テ七十五町九段歩ヲ減少セシモ産額ハ二十一萬六千四百三十三圓ヲ増加セリ。而シテ作付段別ノ減少ハ主トシテ大豆ニ於テ六十七町四段歩ヲ減少セルニ由ルモノニシテ又價額ノ増加ハ大豆ニ於テ七萬四千二百三十三圓、小豆ニ於テ一萬八千三百二圓、蕎麥ニ於テ一萬八千七百二十七圓、甘藷ニ於テ三萬四千六百十七圓、馬鈴薯ニ於テ六萬六千三百四十四圓等孰レモ増額シタルヲ主ナルモノトス。産額五萬圓以上ノモノニ付キ其ノ作付段別、收穫高及價額ヲ示サバ次ノ如シ。

	作付段別 町段	收穫高 石	價 額 圓
大 豆	2,279.1	24,469	388,470
小 豆	761.2	5,755	113,253
蕎 麥	791.6	6,163	67,808
甘 藷	99.1	2,433,587	218,163
馬 鈴 薯	919.3	2,494,932	293,085

果實 昭和十年ニ於ケル果實ハ總價額五十萬三千九百九十五圓ニシテ前年ニ比シ二萬四千九百九十四圓ヲ増加セリ。之レ蜜柑ニ於テ千八百六十二圓、桃ニ於テ五千九百六十四圓、日本梨ニ於テ六千六百三十一圓、生柿ニ於テ一萬九千四百四十九圓、葡萄ニ於テ二千五百六十圓等ノ増額ヲ見タルモノアルモ、干柿ニ於テ八千七百六十圓、梅ニ於テ三千四百四十四圓ヲ減額セシモノ等アリテ彼此差引キ結局前記ノ如キ増額ヲ見ルニ至レリ。而シテ桃及葡萄ノ栽培ハ逐年旺盛ナルモ干柿ノ製造ハ之ニ反シ衰微ノ傾向ニ在リ。産額一萬圓以上ノモノニ付キ其ノ樹數、收穫高及價額ヲ示サバ次ノ如シ。

	樹 數	收穫高 石	價 額 圓
桃	134,010	372,779	92,904
梅	51,108	3,138	82,134
日 本 梨	34,140	164,914	46,422
葡 萄	25,527	61,209	26,264
生 柿	240,271	1,164,447	202,226
蜜 柑	40,876	89,502	20,077
干 柿	—	15,868	16,513

蔬菜及花卉 昭和十年ニ於ケル蔬菜及花卉ノ作付段別ハ三千四百七十四町四段歩、總價額百六十四萬一千四百七十八圓ニシテ前年ニ比シ作付段別七十一町三段歩、價額二千三百三十九圓ヲ何レモ増加セリ。而シテ作付段別ノ増加セルハ生大根五十町一段歩、西瓜九町九段歩、茄子五町四段歩ヲ主ナルモノトス。又價額ノ増加ハ作付段別竝ニ收穫高ノ増加ニ依ルモノナリ。蔬菜ノ主ナルモノニ付キ作付段別、收穫高及價額ヲ示サバ次ノ如シ。

	作付段別 町段	收穫高 円	價 額 円
生 大 根	1,050.7	7,173,074	413,410
里 半	494.4	2,017,271	297,425
茄 子	297.9	1,587,342	200,546
西 瓜	214.7	926,052	156,322
胡 瓜	161.4	626,107	87,187
牛 蒡	108.4	289,746	65,594
葱	136.9	414,128	75,207
漬 菜	190.7	604,923	56,619

工藝農産物 昭和十年末ニ於ケル工藝農産物ハ總作付段別一千四百七十一町六段歩、總價額三十一萬三千五百九十九圓ニシテ前年ニ比シ作付段別ニ於テ百九十五町七段歩ノ減少ヲ見タルモ價額ニ於テ三萬二千七百二十一圓増加シタルハ價格高値ノ結果ナリ。

畜 産

牛 昭和十年末ニ於ケル牛ノ飼養戸數ハ四千五十九戸、其ノ飼養頭數ハ五千五十六頭内北四千二百二十九頭(八割三分五厘) 牝八百二十七頭(一割四分四厘)ニシテ前年ニ比シテ戸數ニ於テ二百六戸、頭數二百八十頭ヲ増加セリ。而シテ飼養者ハ一頭飼養ノモノ三千八百三十三戸ニシテ總數ノ九割四分四厘強ヲ占メ二頭飼養ノモノ百八十八戸ニシテ前年ヨリ四十七戸ヲ、三頭以上飼養ノモノ百十八戸ニシテ前年ヨリ三戸ヲ何レモ増加シタリ。又年末現在頭數ヲ年齡別ニ觀レバ滿二年以上ノモノ三千九百八十二頭(七割八分八厘)、滿一年以上滿二年未滿ノモノ六百二十一頭(一割二分三厘)、滿一年未滿ノモノ四百五十三頭(八分九厘)ナリ、尙本年内ニ於ケル生産頭數ハ三百六十頭(牝二百五十頭、牡一百十頭)ニシテ奇シクモ前年ト同一頭數ノ生産ナリ、斃死セルモノハ牝六十一頭、牡二十八頭、計八十九頭ニシテ前年ヨリ三十一頭ヲ減少シ成績良好ナリ。乳牛ハ前記頭數中ニ包含セラルルモ其ノ年末現在ニ於ケル頭數ハ六百六十頭ニシテ前年ニ比シ僅カニ二頭ヲ増加シタルノミ。之ガ搾乳場數ハ一百十九ヶ算シ年内ノ搾乳高ハ九千一百八十四石ニ達シ其ノ場數前年ヨリ一場減少シタルニ拘ハラズ搾乳高ニ於テハ一千五百八十五石ノ激増ヲ來セリ。

馬 昭和十年末ニ於ケル馬ノ飼養戸數ハ五千六百二十二戸、其ノ飼養頭數ハ六千四十三頭内牝三千四十三頭、牡三千頭ニシテ前年ニ比シ戸數二百六十三戸、頭數一百七十頭ヲ何レモ増加セリ、而シテ飼養者ハ一頭飼養ノモノ九割六分八厘ヲ占メ二頭以上飼養ノモノハ百九十一戸ニシテ前年ヨリ二十五戸ヲ減少セルモ一頭飼養ノモノ二百八十八戸ヲ増加シタル爲前記ノ如ク總戸數ニ於テ増加ヲ見ルニ至レリ。又年末現在頭數ヲ種類別ニ觀レバ和種三頭、洋種九頭ヲ除キ他ハ全部雜種ニシテ更ニ之ヲ年齡別ニ觀レバ明四歳以上ノモノ五千四百三十七頭(八割九分九厘七毛)、明三歳以下ノモノ六百六頭(一割三毛)ノ割合ナリ。本年内ニ於ケル生産頭數ハ三十六頭ニシテ前年ヨリ八頭ヲ増加シ斃死セルモノハ五十四頭ニシテ前年ヨリ二十三頭ヲ減少セリ。

豚 昭和十年末ニ於ケル豚ノ飼養戸數ハ五百三十六戸、其ノ飼養頭數一千五百三十九頭内牝八百八十九頭、牡六百五十頭ニ

シテ前年ニ比シ戸數二百七十六戸、頭數四百四十七頭ノ何レモ激増ヲ見タリ、而シテ飼養者ハ一頭飼養ノモノ最モ多ク前年ヨリ一百四十三戸ヲ増シテ二百三十三戸ト爲リ四割三分五厘ヲ占メ、二頭飼養ノモノ二百一戸(三割七分五厘)、三頭以上飼養ノモノ一百二戸(一割九分)ナリ、又本年内ニ於ケル生産頭數ハ一千十三頭ニシテ斃死セルモノハ三百十二頭ナリ。

鶏 昭和十年六月末日現在ニ於ケル鶏ノ飼養戸數ハ六千三百七十戸、其ノ飼養羽數ハ二十九萬四千零八羽内成鶏十九萬八百八十六羽、雛十萬三千一百三十二羽ニシテ前年ニ比シ戸數ニ於テ二十五戸ヲ減少セルモ其ノ羽數ニ於テハ成鶏八千八百十九羽ヲ増加シ、雛ハ之ニ反シ一萬四百五十三羽ヲ減少セリ而シテ十羽未滿ノ飼養者ハ年々減少スルモ之ニ反シテ十羽以上ノ飼養者ハ逐年増加ノ傾向ヲ示シツツアリ。

林 業

公私有林野面積 本調査ハ毎三年ノ定期調査ニシテ昭和八年末現在ニ於ケル公私有林野面積ハ十八萬四千四百九十町五段歩内立木地十七萬四千四百四十町歩、無立木地一萬三千五十町五段歩ニシテ之レヲ前同調査ノ昭和五年末ニ比スレバ六千五百九十七町二段歩ヲ増加シ本縣總面積ノ四割強ヲ占ム。之ヲ所有者別ニ觀レバ私有地最モ多ク十五萬四千四百五十二町七段歩(八割三分五厘)ヲ占メ、町村有一萬九千四百四十二町一段歩之ニ亞ギ部落有四千四百六十六町歩ヲ主ナルモノトシ縣有寺院有ハ何レモ二千乃至二千五百町歩ナリ。尙立木地ヲ樹林別ニ觀レバ闊葉樹林最モ多ク八萬三千二百餘町歩ニシテ立木地ノ四割八分六厘ヲ占メ、針混澗滑樹林四萬八千一百餘町歩、針葉樹林三萬八千五百餘町歩ノ割合ナリ。

森林植栽 昭和十年ニ於ケル公私有林(國有林ヲ除ク)ノ新植ハ總面積一千五十五町三段歩、樹數二百八十五萬二千六十八本、内針葉樹ハ面積八百七十四町一段歩、樹數二百三十三萬六千八十五本、闊葉樹ハ面積一百八十一町二段歩、樹數五十一萬五千九百八十三本ニシテ前年ニ比シ總面積ニ於テ一百二十七町歩ヲ減少シタルモ樹數ハ之ニ反シ一千二百一十三本ヲ増加セリ。

主ナル樹種ニ付其ノ面積及樹數ヲ示セバ次ノ如シ。

	面積 町段	樹 數 本
ス ヤ	763.2	1,932,960
ク ヌ キ	89.8	260,770
ヒ ノ キ	50.4	136,485
マツ(カラマツヲ含ム)	50.3	216,190
ケ ヤ キ	21.7	52,460
ク リ	4.9	7,800

尙昭和十年ニ於ケル補植ハ三十八萬八千一百五十本ニシテ前年ニ比シ一萬六千五百十本ヲ減少シタリ。而シテ其ノ主ナルモノハサギニシテ三十一萬二千一百八十本、之ニ次クハまつ三萬二千三百本、ひのき二萬一千六百十二本、くぬぎ一萬二千九百四十本等ナリ。

森林伐採 昭和十年中ニ於ケル伐採面積ハ三千二百八十三町一段歩、内用材五百九十六町六段歩、薪炭材二千五百五十五町

九段歩、竹材一百三十町六段歩ニシテ前年ニ比シ二百八十九町七段歩ヲ増加シタリ。而シテ之ガ材積ハ用材三十二萬四千三百十石（價額一百八萬五千二百八十九圓）、薪炭材二十六萬一千二百三十三櫛（價額七十三萬一千四百五十一圓）、竹材八萬八千六百六十三束（價額三萬九千三百七十二圓）ニシテ之ヲ前年ニ比スレバ用材ニ於テ五萬四千八百五十六石（價額九萬二千九百二十圓）ヲ増加シタルモ薪炭材及竹材ノ價額ハ何レモ減少シタリ。

用材ノ主ナル樹種ニ付其ノ材積及價額ヲ示セバ次ノ如シ

	材 積 ^石	價 額 ^圓
ス ギ	160,571	636,851
マ ツ	117,291	273,819
キ リ	10,204	53,828
ク リ	7,597	25,942
ケ ヤ キ	6,066	45,369
ブ ナ	3,307	2,935
ヒ ノ キ	3,120	16,155

林野産物 昭和十年ニ於ケル林野産物總價額（木炭ヲ除ク）ハ三十三萬五千八百七十圓、内造林用種子六百七十一圓、枿實十九萬五千二百九十二圓、樹皮二萬六千七百十七圓、其ノ他十一萬三千七百九十圓ニシテ前年ニ比シ四萬三千六百五十七圓ヲ増加セリ。而シテ本縣特産物タルあぶらぎリハ收穫高七千五百三十一石、價額十五萬三千九百四十二圓ヲ産シ全國第一位ニシテ前年ニ比シ收穫高ハ三千二百七十三石ヲ減少シタルモ價額ハ價格騰貴ノ爲三萬六千八百五十五圓ヲ増加セリ。此ノ外主ナルモノニ付其ノ數量及價額ヲ示セバ次ノ如シ。

	數 量 ^石	價 額 ^圓
ク リ (實)	1,894	39,186
ス ギ (皮)	93,996	25,929
柴 草 (生)	2,625,363	33,838
松 茸 (生)	96,500	40,075
筍	132,763	24,830

木炭 昭和十年ニ於ケル木炭製造戸數ハ五千一百二十七戸、其ノ總數五千三百二十一籠ニシテ前年ニ比シ一百四十八戸、八十六籠ヲ減少シタリ。而シテ年内ニ於ケル生産高ハ九百七十四萬八千六百九十七貫、價額一百五十二萬三千六百五十一圓ニシテ五十一萬一千一百七十一貫、價額三十五萬九千九百九十九圓ヲ何レモ減少セリ。之レ昭和九年末來ノ近年稀有ノ降雪ニ基因スル處甚大ナリ。

水 産 業

水産業者 昭和十年末ニ於ケル水産業者總數ハ一萬二千五百四人、内業主六千七百八十七人、被用者五千七百七十八人ニシテ前年ニ比シ業主六十二人増加シタルモ被用者ハ一千七百四十五人ノ減少ヲ見タリ。

業應別ニ業主及被用者ヲ觀レバ次ノ如シ。

	業 主	被 用 者
漁 撈	6,092	4,591
養 殖	71	56
製 造	624	1,070

而シテ之ガ本業者ハ七千七百五十人内業主三千五百四十七人、被用者四千二百三人ニシテ、副業者ハ四千七百五十四人、内業主三千二百四十人、被用者一千五百十四人ナリ。

之ヲ業應別ニ觀レバ次ノ如シ

	業 主	被 用 者	
本 業	漁 撈	3,242	3,644
	養 殖	9	8
	製 造	296	551
副 業	漁 撈	2,850	947
	養 殖	62	48
	製 造	328	519

漁船 昭和十年末ニ於ケル漁船總數ハ三千七百八十一隻、内無動力船三千二百四十三隻、有動力船五百三十八隻ニシテ前年ニ比シ總數ニ於テ一百四十七隻ノ激増ヲ見タルハ無動力船ニ於テ九十八隻、有動力船四十九隻何レモ増加シタルニ基因ス。而シテ年内ニ於ケル新造ハ無動力船二百七十四隻、有動力船九十一隻ニシテ前年ニ比スレバ無動力船九十四隻、有動力船三十三隻ヲ何レモ増加セリ。又年内ニ於テ難破其ノ他ノ事由ニ因リ廢用セルモノハ無動力船二百三十二隻、有動力船四十六隻ニシテ前年ニ比シ無動力船五十三隻、有動力船四隻ノ何レモ増加ヲ見タリ。尙年末現在船數ヲ噸數別ニ示セバ次ノ如シ。

	無動力船 ^隻	有動力船 ^隻
五噸未満	3,321	307
五噸以上十噸未満	12	145
十噸以上二十噸未満	—	79
二十噸以上	—	7

尙年内ニ於ケル遭難漁船ハ無動力船四隻、有動力船二隻ニシテ其ノ遭難ノ種類ハ破壊四隻、其ノ他二隻ナリ。而シテ之ガ損害高ハ漁船九十圓、漁具三百四十五圓合計一千二百五十五圓ノ見積價額ナリ。又乗組員中死亡シタル者四人、負傷者一人アリタリ。

沿岸漁獲物 昭和十年ニ於ケル沿岸漁獲物總價額ハ一百九十一萬六千四百八十八圓ニシテ前年ニ比シ九萬一千一百十三圓ノ減少ヲ見タリ。

種類別ニ數量及價額ヲ示セバ次ノ如シ

	數 量 ^石	價 額 ^圓
漁 類	3,597,647	1,533,859
貝 類	72,828	36,664
其ノ他水産物	590,715	312,912
藻 類	87,657	33,053

漁獲物ノ主ナルモノハいわし一百二十七萬三千六百九十貫、（價額十二萬八千四百九十四圓）、さば七十五萬四千一百二十五貫（價額二十五萬六千五百八十八圓）、まぐろ六十一萬五千三百六十三貫（價額二十二萬二十圓）、あぢ十六萬七百五貫（價額十萬五千九十二圓）、ぶり十三萬六千九百二十一貫（價額七萬九千一百六圓）等ニシテ其ノ他十萬貫以上ノモノニハいか二十四萬九千五百二貫（價額十三萬七千三百五十四圓）、たらばかに二十四萬九百七十七貫（價額十萬七千四百七圓）等アリ。此ノ外たひハ六萬六千八百二十三貫、價額十七萬九千

百五十二圓、あゆハ二萬六千四十五貫價額十一萬四千二百七十九圓ノ漁獲アリ。尙藻類中其ノ主ナルモノハわかめニシテ六萬七千一百四十六貫、此ノ價額一萬六千二百四十九圓ヲ算シ之ニ亞グテあよノリ二千六百二十六貫、價額五千二百二十七圓トス

遠洋漁業 昭和十年末現在ニ於ケル年内遠洋漁業ニ従事セル漁船ハ四十五隻(發動機漁船)、此ノ總噸數六百八十一噸、乗組員六百六人ニシテ前年ニ比シ船數三隻、噸數三十三噸、乗組員一百七十九人ヲ何レモ増加シ前年迄ハ逐年衰微ノ傾向ヲ辿リツツアリシニ本年ニ至リ一躍増加ニ變ジタルハ寔ニ喜ブベキ傾向ナリ。而シテ之ガ漁獲高ハ數量九十一萬七千四百二十貫、價額二十七萬二千三百七十四圓ニシテ前年ニ比シ十七萬二千三百貫ノ激減ヲ示シタルモ價額ハ之ニ反シ六百六十七圓ノ増加ヲ見タリ。漁獲物ノ主ナルモノハいわし十六萬貫ニシテ價額三萬三千圓、さば八萬三千貫ニシテ價額二萬七千三百九十圓、かれひ、ひらめ三萬四千九百貫ニシテ價額四萬九千三百八十圓、たひ一萬九千八百五十貫、價額五萬四千九百九十圓等ナリ。

尙漁撈ノ方法別ニ漁船及漁獲高ヲ示セバ次ノ如シ(刺網漁業ナシ)。

	船數	數量	價額
旋網漁業	10	745,630	61,485
沖曳網漁業	35	171,820	210,889

工 業

機業場數 昭和十年末ニ於ケル機業場總數ハ二千六百七十九、内綿織物七十六、絹織物及絹綿交織物二千五百五十(九割五分)、麻及麻交織物五十三ニシテ前年ニ比シ綿織物一、絹織物及絹綿交織物二百四十四、麻及麻交織物二テ各増加セリ。殊ニ逐年人造絹絲織物ノ海外需要益旺盛トナリシニ伴ヒ新規開業工場ノ簇出ヲ來シ昭和五年ノ千七百七十三ニ比シ實ニ二倍強ニ及ビ躍進人絹王國ノ名全國ニ冠タル所以ナリ。之ヲ機業別ニ觀レバ十盛未滿ノモノ九百四十七(三分五厘)、十臺以上五十臺未滿ノモノ千四百六十四(五割五分)、五十臺以上ノモノ二百六十八(一割)ナリ。

機臺數 昭和十年末ニ於ケル機臺數ハ七萬七千四百四十七ニシテ内綿織物二千六百七十七(三分)、絹及絹綿交織物六萬八千三百三十九(九割六分)、麻及麻交織物四百四十二(一分)ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ、綿織物五百三十六、絹及絹綿交織物八千六百十五、麻及麻交織物五十六テ何レモ増加セリ。

機業職工數 昭和十年末ニ於ケル機業職工數ハ四萬四千三百十二人、内男九千二百七十七人(二割一分)、女三萬五千九百九十五人ニシテ前年ニ比シ男六百九人、女三千三百六人ヲ増加セリ。殊ニ機業ノ中心地タル吉田郡ニ於テハ女二萬五千二百二十八人(昭和十年國勢調査ニ依ル人口)ノ内、女工六千三百二人ヲ出シ實ニ女子四人ニ對スル一人ノ割ヲ以テ機業ニ従事スルノ盛況ヲ呈セリ。

織物産額 昭和十年ニ於ケル織物生産額ハ一億三千四百六十萬二千二百三十四圓ニシテ本縣工産額ノ八割三分ニ當レルノミナラズ尙本縣生産總價額ノ六割五分ヲ占メ、如何ニ斯業ノ消

長ガ縣民ノ生活ニ甚大ナル影響ヲ及ボスベキカヲ知ルコトヲ得ベシ。上述ノ如ク機業場數ノ増加ニ伴ヒ生産數量ノ激増ヲ見タルモ同年後半期ニ於ケル人造絹絲織物ノ價額低落セシ爲却テ前年ニ比シ生産額五百八十八萬八千五百七十三圓ノ減少ヲ見ルニ至レリ。之ヲ品目別ニ觀レバ廣幅物一億千五百七十五萬六千七百二十二圓、小幅物千六百六十八萬三千六百六十五圓、特殊物二百十六萬千八百四十七圓ニシテ尙種類別ニ觀レバ絹織物一億二千四百二十八萬九千七百十六圓(内約七割ハ人造絹絲織物)首位ヲ占メ(總額ノ九割二分)、絹綿交織物六百四萬三千二百九十圓、綿織物二百八十二萬六百八十九圓麻及麻交織物百四十四萬八千五百三十九圓ノ順位トス。

又産額ヲ地方別ニ觀レバ吉田郡ノ二千五百七十四萬五千八百八十五圓(一割九分)ヲ最多トシ、福井市ノ二千五百六十三萬九千三百一十一圓(一割九分)之ニ亞ギ、大野郡ノ二千二百八十二萬六十六圓(一割七分)、坂井郡ノ二千二百萬三千五百四十一圓(一割六分)、今立郡ノ二千五百五十八萬七千八百三十二圓(一割六分)ヲ主ナルモノトス。

染物 昭和十年末ニ於ケル染物工場ハ百五、職工數千六百九十四人ニシテ前年ニ比シ工場四、職工三十六人ヲ減少セリ。之ヲ種類別(染質)ニ觀ルニ無地物三百六十五萬二千九百九十六圓(七割)、捺染物百四十六萬二千五百五十二圓(二割八分)共ノ他九萬九千八百七十圓ナリ。而シテ染質總額ハ五百二十一萬五千四百八十八圓ニシテ前年ニ比シ百六萬五千八百八十二圓ヲ増加シタルハ主トシテ人造絹絲織物ノ染色工業ノ勃興ニ因ルモノナリ。

製絲 昭和十年末ニ於ケル製絲場數ハ百四十、繰絲釜數千四百四十六釜ニシテ前年ニ比シ場數三十七、釜數百二十二釜ヲ減少セルハ主トシテ十釜未滿ノ工場ノ衰退ニ由ル。而シテ製絲總額ハ五萬三千四百五貫、價額二百二萬五千九百二十三圓ニシテ前年ニ比シ數量千六百七十七貫、價額五十萬九千七百十六圓ノ増加ヲ見タリ。尙生絲ノ生産ハ四萬六千三十四貫、價額百九十六萬二千二百八十七圓ニシテ、前年ニ比シ數量千八百四十七貫、價額五十萬三千二百三十三圓ヲ増加セリ。

製絲場數及生絲ノ數量、價額ヲ各業別ニ觀レバ次ノ如シ。

	場數	數量	價額
器械絲	16	43,135	1,849,650
座繰絲	119	2,874	112,012
玉絲	5	25	625

漆器 昭和十年末ニ於ケル漆器製造場數ハ三百三十八、職工數千三百五十八人ニシテ前年ニ比シ場數二十二、職工數三十人ヲ各増加セリ。而シテ其ノ産額ハ百五十萬六千七百十六圓ニシテ前年ニ比シ一萬百七十九圓ノ増加ナリ。之ヲ地方別ニ觀レバ今立郡九十六萬六千七百五十六圓ヲ最多トシ遠敷郡ノ二十七萬九千五百圓、福井市ノ十七萬四千九百三十五圓ニ亞グ。尙之ヲ種類別ニスレバ飲食用器物八十一萬五百七十二圓家具及裝飾品五十一萬五千六百六十九圓、其ノ他十八萬九百七十五圓トス。而シテ其ノ大部分ハ堅牢ヲ以テ起テ河和田塗ト特種技能ヲ以テ著名ナル若狹塗ニシテ何レモ其ノ聲價高シ

酒類 昭和九年造年度ニ於ケル酒類造場數百五十三、職工數千八百八十人ニシテ前年ニ比シ場數ニ於テ五、職工數ニ於テ三十四

人ヲ増加セリ。酒造總價額ハ四百四萬四千九十五圓ニシテ前年ニ比シ八萬四千二百二十圓ヲ増加セリ。而シテ近時其ノ製品ノ品位高上ノ爲杜氏ノ技能養成ト酒造米ノ撰譯トニ努メタル結果先進地ヲ凌駕シ得ルノ優良酒ヲ吟醸スルニ至レリ。尙誦類別ニ之ヲ示セバ次ノ如シ。

	數 量	價 額
清 酒	53,735	3,974,251
白 酒	214	28,052
味 淋	184	32,240
燒 酎	34	5,952

紙類 昭和十年末ニ於ケル製紙場數ハ器械漉十二、手漉五百九十一ニシテ前年ニ比シ器械漉一、手漉七テ減少セルモ製紙總價額ニ於テハ二十五萬七千三百三十五圓ノ増加ヲ見タリ。即チ總價額二百九十七萬六千三百五十八圓ニシテ、内器械漉二百一萬七千四百五十九圓（六割八分）、手漉九十三萬八千八百九十九圓ナリ。之ヲ地方別ニ視レバ南條郡ノ百四十四萬四千七百八十八圓（四割九分）ヲ最高トシ、今立郡ノ百二十五萬九千八百九十圓（四割二分）之ニ亞ゲリ。

其ノ他ノ工産物 其ノ他ノ工産物ノ内主ナルモノヲ列舉スレバ次ノ如シ。

種 類	生 産 價 額
木 製 品	1,506,823
菓 子 及 麵 麴 類	1,107,699
織 物 用 具	977,051
菓 製 品	959,718
石 材 及 土 石	655,438
醬 油	600,559
打 双 物	466,920
瓦(セメント瓦ヲ含マズ)	517,899
敷 帳	551,082
植 物 油	252,847

商 業 及 會 社

商事會社 昭和十年末ニ於ケル商事會社ハ五百二十八ニシテ其ノ公稱資本金及出資額ハ七千七百八十三萬五千八百八十六圓ナリ。之ヲ前年ニ比スレバ會社數ニ於テ二十三ヲ、公稱資本金及出資額ニ於テ三百二十一萬二千六百五十圓ヲ増加セリ。而シテ之ヲ組織別ニ視レバ合名會社六十九、出資額百二十四萬六千八百六十六圓、合資會社二百二十三、出資額四百三十萬一千五百七十圓、株式會社二百三十六、公稱資本金七千一百八十八萬二千五百十圓ナリ。更ニ之ヲ資本金別ニ分ツトキハ五萬圓未満ノモノ三百三十六（資本金四百十三萬四千四百三十六圓）、五萬圓以上十萬圓未満ノモノ六十二（資本金三百四十六萬二千五百圓）、十萬圓以上五十萬圓未満ノモノ八十九（資本金千四百九十三萬五千圓）、五十萬圓以上百萬圓未満ノモノ二十二

（資本金九百八十一萬六千六百五十圓）、百萬圓以上五百萬圓未満ノモノ十六（資本金二千七百九十七萬圓）、五百萬圓以上ノモノ三（資本金千七百五十一萬五千圓）ニシテ一會社平均資本金ハ合名會社一萬九千五百二十圓、合資會社一萬九千二百九十圓、株式會社三十萬五千八百五十七圓ナリ。

尙之ヲ業態別ニ視察スレバ、商業ニ屬スルモノ最多ニシテ二百三十七社ヲ算ヘ其ノ資本金三千二百六十萬八千五百八十八圓、積立金六百十五萬八千九百六圓、配當金七十萬四千六百八十八圓ナリ。次ハ工業ニ屬スルモノニシテ二百十四、資本金三千四百三十三萬七千四百六十六圓、積立金三百四十五萬四千七百八十五圓、配當金百六十五萬五千七百十九圓ナリ。

普通銀行 昭和十年末ニ於ケル普通銀行ハ五行ニシテ其ノ公稱資本金千八百三十萬五千圓、拂込資本金九百四十七萬三千二百二十五圓ナリ。年末ニ於ケル積立金ハ四百九十七萬八千八百十四圓ニシテ前年末ニ比シ十四萬七千八百八十圓ヲ増加セリ。純益金ハ八十三萬四千六百一十一圓ニシテ前年ニ比シ七千六百八十五圓ヲ増加セリ。

次ニ株主配當金ハ五十三萬五千五百十四圓ニシテ前年ニ比シ三萬四千五百五十九圓ヲ減ジ拂込資本金ニ對シ五分七厘ニ當ル年内ニ於ケル現金、預金、貸付金ノ各勘定ノ取扱高ヲ觀ルニ現金勘定ニ在リテハ入金二十億四千九百五十四萬七千五百三十三圓ニシテ前年ニ比シ四千二百萬九千三百八十二圓ヲ増加シ又出金二十億四千九百三十五萬六千五百八圓ニシテ前年ニ比シ千八百六十三萬八千八百二十五圓ヲ増加セリ。預金勘定ニ在リテハ總預リ高四億四千七百七萬五千二百七十七圓ニ達シ年末現在高七千三百三十一萬四千四百四十五圓ニシテ前年ニ比シ總預リ高ニ於テ二千二百二十萬四千二百七十七圓、年末現在高ニ於テ五百二十六萬八千七百七十六圓ヲ各増加セリ。

之ヲ口座別ニ示サバ次ノ如シ

	年内預リ高 (千円)	年末預金高 (千円)
當 座 預 金	227,163	7,163
特別當座預金	98,731	15,752
定期預金	78,132	46,607
公 金 預 金	—	—
其 ノ 他	10,045	1,792

貸付金勘定ニ在リテハ總貸出三億三千四百八十萬六千七百七十圓ニ達シ年末現在高ハ三千七百九十一萬五十六圓ニシテ前年ニ比シ貸出高ニ於テ二千三百二十九萬六千四百五十四圓ヲ増加セリ。

之チ口座別ニ示サバ次ノ如シ。

	年末貸出高 (千円)	年末現在高 (千円)
證 書 貸 付	1,685	4,996
手 形 貸 付	111,251	18,093
當 座 貸 付	190,541	14,322
コ ー ル ロ ー ン	31,330	500

